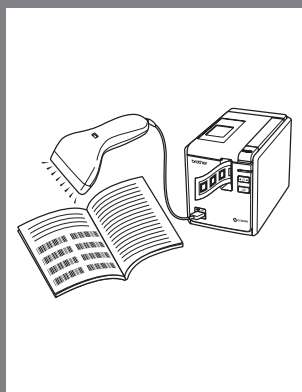


バーコードリーダーを接続して、 ラベル / バーコードをかんたんに作成してみよう！



本機にバーコードリーダーを接続して、「P-touch Editor 5.0」を使って、ラベル / バーコードを作成してみましょう



- Windows® XP を例に説明しています。お使いのパソコンの OS や設定により画面が異なる場合があります。
- 本機の取扱説明書も用意してください。
「取扱説明書 PXX」の箇所は本機の取扱説明書を参照する箇所です。



- テンプレートの転送は Windows® に本機が接続されている場合に対応しております。
Windows® と本機の接続は、USB 接続を推奨しています。
Macintosh® には対応しておりません。
- 本機に転送するテンプレートのテープ幅は本機にセットするテープ幅と合わせてください。
テープ幅が合っていないと印刷できません。

かんたん操作

- 定型テンプレート印刷機能⇒ P1
使用頻度の高いラベルデータを本機に登録しておく、バーコードを読み取るだけで、同じラベルが印刷できます。
- バーコード作成 (コピー) 印刷機能⇒ P2
バーコードリーダーで読み取ったバーコードをあらかじめ作成しておいたテンプレートのサイズや規格に合わせて印刷します。
- データベース置換印刷機能⇒ P3
テンプレートとデータベース (Excel 等) を作成しておく、データベースの情報をテンプレートに反映することができます。
データベース上のバーコードと一致するキーバーコードを読み取ると該当のラベルが印刷できます。

応用操作

- ナンバリング (連番) 印刷機能⇒ P4
ラベルの番号、バーコードの番号を連番で印刷できます。

補足

- P-touch テンプレート設定方法⇒ P7
- RS-232C 通信 (バーコードリーダーとの通信) 設定方法⇒ P7
- バーコードリーダーの接続方法⇒ P7
- バーコードリーダーを使用した印刷設定方法⇒ P8

かんたん操作

● 定型テンプレート印刷機能

■ 概要手順

ラベル作成⇒ラベルデータを本機へ転送⇒ラベル印刷

■ 手順

1. ラベルテンプレートを作成します

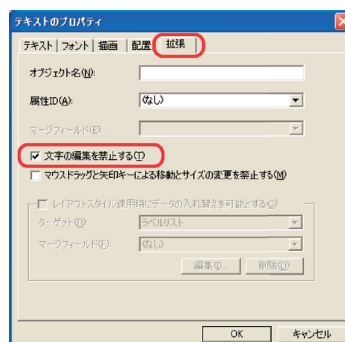
1. P-touch Editor 5.0 を起動して、印刷したいラベルを作成します。

作成例:

24 mm

鈴木 太郎

2. 作成したラベル内のテキスト部分を選択して、右クリックして、プロパティを選択します。



「拡張」タブを選択します。

3. [文字の編集を禁止する] にチェックを入れて、[OK] をクリックします。

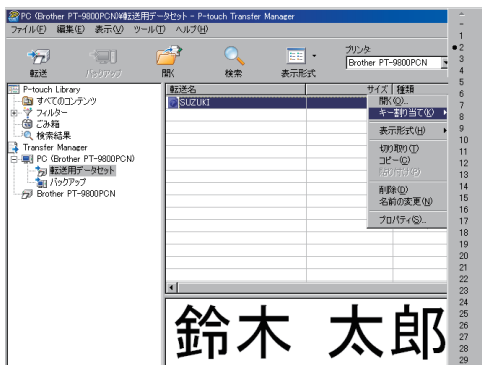
2. 本機とパソコンが接続されていることを確認して、ラベルデータを本機に転送します

1. [ファイル]-[テンプレートの転送] をクリックして、Transfer Manager を起動させます。



リストからラベルデータを選択して、右クリックでメニューを表示させます。

[キー割り当て] を選択するとキーの番号が選択できます。この番号は印刷するときのラベルテンプレート番号になります。



※ 例ではキー割り当ては「2」を選択しています。

※ 定型テンプレート印刷機能をご利用の場合は 1 ～ 10 の範囲で指定してください。

2. [転送] をクリックして、本機にラベルデータを転送させます。

3. バーコードリーダーを接続します

接続方法の詳細は P7 「バーコードリーダーの接続方法」を参照してください。

4. ラベルを印刷します

【取扱説明書】を開いて「設定用バーコード一覧」（P50 ～ 52）を参照してください。

1. 取扱説明書 P50 の「P-touch テンプレートコマンド（初期設定 + 設定開始）」のバーコードをバーコードリーダーで読み取ります。

■ P-touch テンプレートコマンド（初期設定 + 設定開始）



Escia3^II

2. 取扱説明書 P51 の「定型テンプレート番号」を参照して、転送時にキー割り当てで指定した番号のバーコードを読み取ります。

（例）キー割り当てで 2 を指定した場合、「定型テンプレート 2」のバーコードを読み取ります。

■ 定型テンプレート番号

・ 定型テンプレート 1



^TS001^FF

・ 定型テンプレート 2



^TS002^FF

・ 定型テンプレート 3



^TS003^FF

・ 定型テンプレート 4



^TS004^FF

手順 1 で作成したテンプレートが印刷されます。
作成例では、鈴木 太郎 のラベルが印刷されます。

● バーコード作成 (コピー) 印刷機能

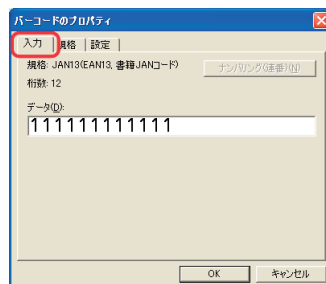
■ 概要手順

バーコードラベル作成⇒ラベルデータを本機へ転送⇒コピーしたいバーコードラベルの読み込み⇒ラベル印刷
※ 作成 (コピー) したいバーコードラベルを準備してください。

■ 手順

1. ラベルテンプレート (バーコード) を作成します

1. P-touch Editor 5.0 を起動します。
2. [挿入] [バーコード] でバーコードのプロパティを開いて、データを入力します。



作成例：
(JAN13)



3. 保存します。
※ 事前にテンプレートで指定したバーコードの規格で印刷されます。
※ ご使用になるバーコードの最大桁数に合わせてラベルの長さをご指定ください。

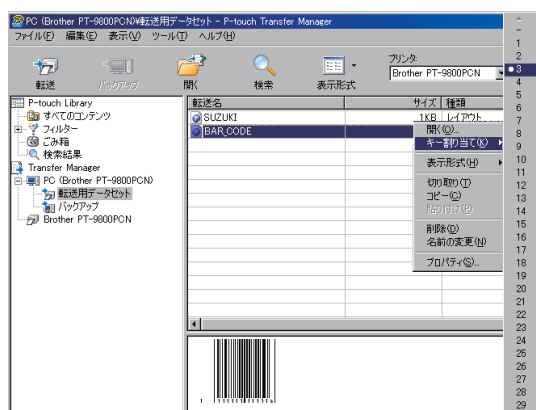
2. 本機とパソコンが接続されていることを確認して、ラベルテンプレートを本機に転送します

1. [ファイル]-[テンプレートの転送] をクリックして、Transfer Manager を起動させます。



リストからラベルデータを選択して、右クリックでメニューを表示させます。

[キー割り当て] を選択するとキーの番号が選択できます。この番号は印刷するときのラベルテンプレート番号になります。



2. [転送] をクリックして、本機にラベルテンプレートを転送させます。

3. バーコードリーダーを接続します

接続方法の詳細は P7「バーコードリーダーの接続方法」を参照してください。

4. バーコードを印刷します

【取扱説明書】を開いて「設定用バーコード一覧」(P50 ~ 52)を参照してください。

1. 取扱説明書 P50 の「P-touch テンプレートコマンド (初期設定 + 設定開始)」のバーコードをバーコードリーダーで読み取ります。

■ P-touch テンプレートコマンド (初期設定 + 設定開始)



2. 取扱説明書 P52「テンプレート選択」のバーコードを読み取ります。
キー割り当てで設定した番号を下記の例を参考に、取扱説明書 P51「テンキー入力」から、3桁の数字で読み取ります。
(例) キー割り当て 3 の場合

■ テンプレート選択



3. 作成 (コピー) したいバーコードを読み取ります。

例 商品バーコード (JAN13)

4. 取扱説明書 P52「印刷開始」バーコードを読み取ります。

■ 印刷開始



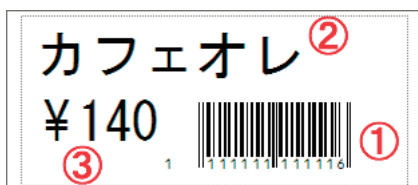
5. 手順 4-3 で読み取ったバーコードが印刷されます。

データベース置換印刷機能

概要手順

データベースと関連付けしたラベルデータ作成⇒ラベルデータを本機へ転送⇒ラベル印刷
例では商品バーコード①と商品名②、価格③のラベルデータを作成します。

作成例:



商品バーコードを読み込むと、該当のラベルが印刷できます。

- 事前に手順 4-3 で使用するキーバーコードを作成してください。

手順

1. データベース (Excel 等) と関連付けしたデータを作成します

1. Excel 等にて、データベース (一覧表) を作成します。

作成例のラベルを作成する場合

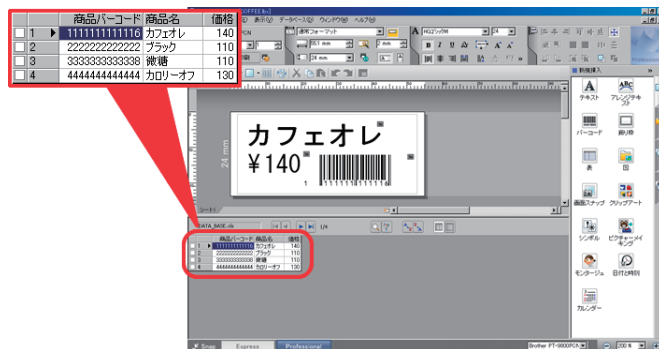
- ①バーコード部分に反映したい事項 (管理番号など) = キーバーコード
- ②商品名
- ③価格

①～③を一覧にしたデータベースを作成します。

2. P-touch Editor 5.0 を起動して、データベースと接続して、関連付けしたデータを作成します。

「ファイル」→「データベース」→「接続」をクリックして、元になるデータベースの場所を指定して、接続します。

「挿入」→「データベースフィールド」をクリックして、追加形式でオブジェクトの形式を指定します。
追加可能なデータベースフィールドで、挿入したい項目を選択します。



※ データベースと関連付けさせる方法は、取扱説明書 P38 の「お願い」をご参照ください。



- Excel 以外にデータベースとして使用できるファイル形式は mdb, csv, txt です。
- P-touch Editor のデータ (*.lxb) とデータベースのデータは同一フォルダに保存してください。
- データベース 1 行目に項目のタイトルが入っていると、関連付けするときの項目名に使えます
「データベースで開く」ウィザードで項目名を指定することもできます。
- データベース 1 列目にバーコードの数字を指定します。
手順 4-3 で読み込むバーコードの数字と一致したラベルの印刷ができます。

2. 本機とパソコンが接続されていることを確認して、データベースと関連付けしたデータを本機に転送します

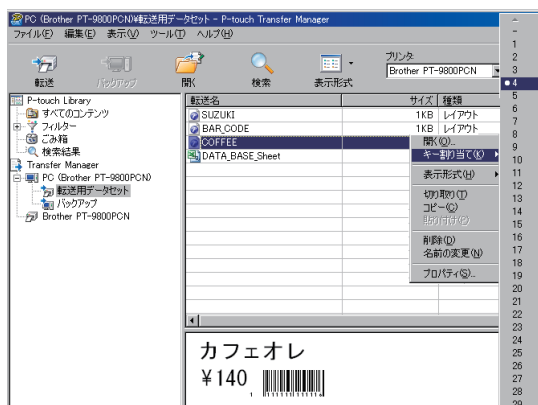
1. [ファイル]-[テンプレートの転送] をクリックして、Transfer Manager を起動させます。



リストからラベルデータを選択して、右クリックでメニューを表示させます。

[キー割り当て] を選択するとキーの番号が選択できます。

この番号は印刷するときのラベルテンプレート番号になります。



2. [転送] をクリックして、本機にデータベースと関連付けしたデータを転送させます。

3. バーコードリーダーを接続します

接続方法の詳細は P7 「バーコードリーダーの接続方法」を参照してください。

4. ラベルを印刷します

1. 【取扱説明書】を開いて「設定用バーコード一覧」（P50 ～ 52）を参照してください。
取扱説明書 P50 の「P-touch テンプレートコマンド（初期設定 + 設定開始）」のバーコードをバーコードリーダーで読み取ります。

■ P-touch テンプレートコマンド（初期設定 + 設定開始）



Esc|a3^II

2. 取扱説明書 P52 「テンプレート選択」のバーコードを読み取ります。
キー割り当てで設定した番号を下記の例を参考に、取扱説明書 P51 「テンキー入力」から、3桁の数字で読み取ります。
(例) キー割り当て 4 の場合

■ テンプレート選択



3. テンプレートと一緒に転送したデータベースの中の印刷したいバーコードを読み取ります。
例 222222222222 のバーコード

4. 取扱説明書 P52 「デリミタ」バーコードを読み取ります。
■ デリミタ



5. 取扱説明書 P52 「印刷開始」バーコードを読み取ります。
■ 印刷開始



作成例では、バーコード (222222222222) と同じ行の商品名「ブラック」、価格「¥110」のラベルが印刷されます。

印刷例：



応用操作

● ナンバリング（連番）印刷機能

ラベルの番号、バーコードの番号を自動で1カウントアップさせながら印刷できます。

■ テキストラベルの場合

■ 概要操作

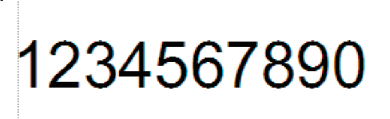
テキストラベル作成 ⇒ ラベルデータを本機に転送 ⇒ ラベル印刷

■ 手順

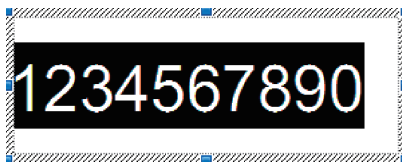
1. テキストラベルを作成します。

1. P-touch Editor 5.0 を起動します。
2. テキストを入力します。

作成例：



3. 左クリックしながら、ナンバリング範囲を指定します。



4. 右クリックして「ナンバリング (連番)」を選択します。

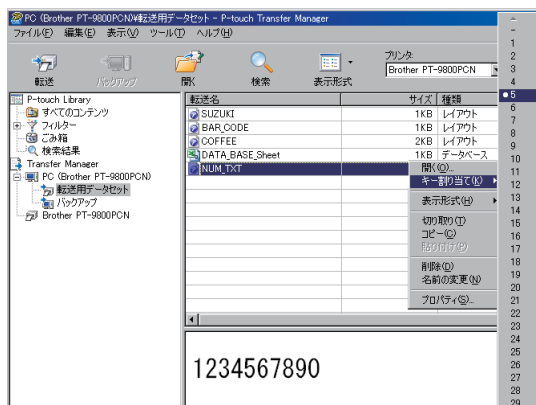
- 9ヶ所まで、ナンバリング範囲を指定することができます。
- ナンバリング範囲で指定できる文字数は最大 15 文字です。

2. 本機とパソコンが接続されていることを確認して、ラベルデータを本機に転送します。

1. [ファイル]-[テンプレートの転送] をクリックし、Transfer Manager を起動させます。

リストからラベルデータを選択して、右クリックでメニューを表示させます。

[キー割り当て] を選択するとキーの番号が選択できます。この番号は印刷するときのラベルテンプレート番号になります。



2. [転送] をクリックして、本機にラベルデータを転送させます。

3. バーコードリーダーを接続します

接続方法の詳細は P7 「バーコードリーダーの接続方法」を参照してください。

4. ラベルを印刷します

【取扱説明書】を開いて「設定用バーコード一覧」(P50 ~ 52) を参照してください。

1. 取扱説明書 P50 の「P-touch テンプレートコマンド (初期設定 + 設定開始)」のバーコードをバーコードリーダーで読み取ります。



Escia3^II

2. 取扱説明書 P52 「テンプレート選択」のバーコードを読み取ります。
キー割り当てで設定した番号を下記の例を参考に、取扱説明書 P51 「テンキー入力」から、3桁の数字で読み取ります。
(例) キー割り当て 5 の場合

■ テンプレート選択



^TS

■ テンキー入力

• 00



00

• 5



5

3. 「ナンバリング印刷枚数」コマンドを読み取ります。



^NN

4. 印刷枚数を指定します。

印刷枚数を「テンキー入力」を参照して、3桁の数字を読み取ります。

例：5 枚の場合

• 00



00

• 5



5

5. 取扱説明書 P52 「印刷開始」バーコードを読み取ります。



^FF

作成例では 1234567890 ~ 1234567894 のラベルが印刷されます。



- ナンバリングのカウントは、印刷するたびに 1 カウントアップされます。
- カウントは本機の電源を OFF しても保持されます。
- カウントを元に戻す場合は、下記バーコード「テンプレートデータ初期化」を読み取ります。



^ID

■ バーコードラベルの場合

■ 概要操作

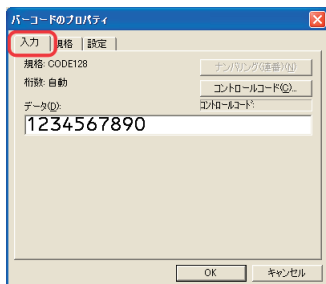
バーコードラベル作成 ⇒ ラベルデータを本機に転送 ⇒ ラベル印刷

■ 手順

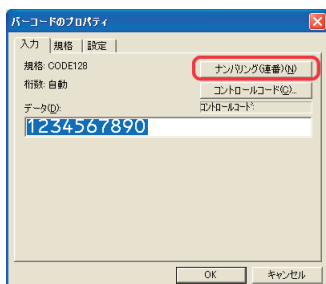
1. バーコードラベルを作成します。

1. P-touch Editor 5.0 を起動します。
2. [挿入][バーコード]でバーコードのプロパティを開き、データを入力します。

作成例:



3. 左クリックしながら、ナンバリング範囲を指定します。



4. [ナンバリング(連番)]ボタンをクリックして、[OK]をクリックします。



- 9ヶ所まで、ナンバリング範囲を指定することができます。
- ナンバリング範囲で指定できる文字数は最大 15 文字です。

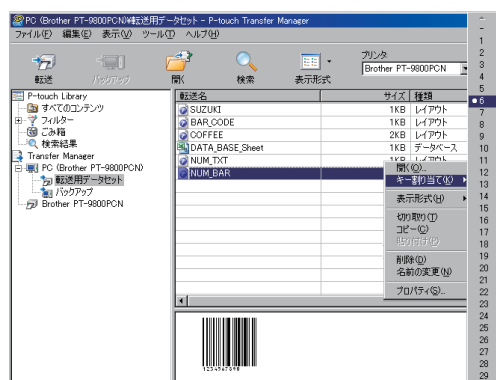
2. ラベルデータを本機に転送します。

1. [ファイル][テンプレートの転送]をクリックして、Transfer Manager を起動させます。



リストからラベルデータを選択して、右クリックでメニューを表示させます。

[キー割り当て]を選択するとキーの番号が選択できます。この番号は印刷するときのラベルテンプレート番号になります。



2. [転送]をクリックして、本機にラベルデータを転送させます。

3. バーコードリーダーを接続します

接続方法の詳細は P7 「バーコードリーダーの接続方法」を参照してください。

4. ラベルを印刷します

【取扱説明書】を開いて「設定用バーコード一覧」(P50 ~ 52)を参照してください。

1. 取扱説明書 P50 の「P-touch テンプレートコマンド (初期設定 + 設定開始)」のバーコードをバーコードリーダーで読み取ります。



2. 取扱説明書 P52 「テンプレート選択」のバーコードを読み取ります。

キー割り当てで設定した番号を下記の例を参考に、取扱説明書 P51 「テンキー入力」から、3桁の数字で読み取ります。
例: (例) キー割り当て 6 の場合

■ テンプレート選択



■ テンキー入力



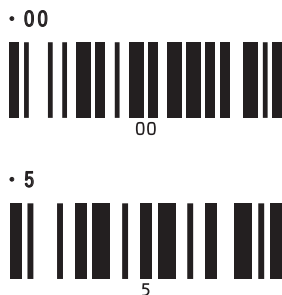
3. 「ナンバリング印刷枚数コマンド」をバーコードリーダーで読み取ります。



4. 印刷枚数を指定します。

印刷枚数を「テンキー入力」を参照して、3桁の数字をバーコードリーダーで読み取ります。

例：5枚の場合



5. 取扱説明書 P52「印刷開始」バーコードを読み取ります。



作成例では [1234567890] ~ [1234567894] のバーコードラベルが印刷されます。



- ナンバリングのカウン트는、印刷するたびに 1 カウントアップされます。
- カウン트는本機の電源を OFF しても保持されます。
- カウン트를元に戻す場合は、下記バーコード「テンプレートデータ初期化」を読み取ります。



補足

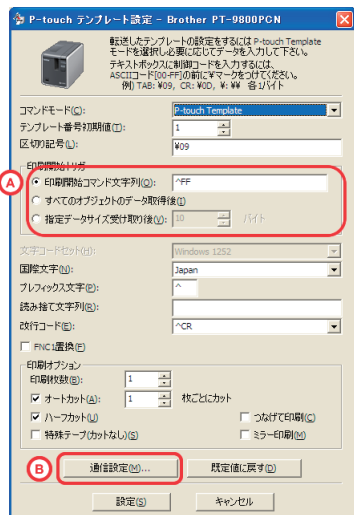
● P-touch テンプレート設定方法

1. 下記 URL から Template アプリケーションをダウンロードして、P-touch Template Settings.exe を起動させます。

<http://solutions.brother.co.jp/>

[製品選択] - [ソフトウェアダウンロード] - 「OS の選択」
「タイプの選択：ユーティリティ」へ移動して、「P-touch Template ツール」をダウンロードしてください。

2. 各項目を設定して、[設定] をクリックします。



デフォルト設定ではバーコードリーダーで「^FF」のコードを読み込んだときに印刷開始します。(A で変更できます。)
「指定データサイズ受け取り後」をチェックしてバイト数を指定すると指定バイト数のバーコードを読み取り後、自動で印刷させることもできます。

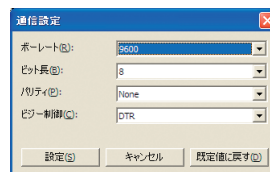
● RS-232C 通信 (バーコードリーダーとの通信) 設定方法



本機のデフォルト設定

ボーレート	9600
ビット長	8
パリティ	None
ビジー制御	DTR
ストップビット	1 (固定)

「P-touch テンプレート設定方法」の B をクリックします。



● バーコードリーダーの接続方法

1. バーコードリーダーの設定をプレフィックス、サフィックスなしに設定します。



バーコードリーダーにより設定できる機能が異なります。
バーコードリーダーの設定方法についてはバーコードリーダーの取扱説明書を参照してください。

2. シリアル接続 (RS-232C) 接続する場合のみ
本機とバーコードリーダーの通信設定を合わせます。
本機の通信設定方法は P7「RS-232C 通信 (バーコードリーダーとの通信) 設定方法」を参照してください。
3. バーコードリーダーを接続します。

● バーコードリーダーを使用した印刷設定方法

バーコードリーダーで印刷の設定、指定が行えます。

■ 基本設定の変更方法

1. 「取扱説明書」(P50 ～ 52) の「設定用バーコード一覧」
「P-touch テンプレートコマンド」バーコードを読み取ります。
2. 「基本設定」から設定したい項目のバーコードを読み取ります。

※ 印刷枚数指定時の注意

1. 「取扱説明書」(P50 ～ 52) の「設定用バーコード一覧」
「P-touch テンプレートコマンド」バーコードを読み取ります。
2. 「基本設定」「印刷枚数」のバーコードを読み取ります。
3. 印刷枚数を 3 桁の数字で「テンキー入力」バーコードから
数字バーコードを読み取ります。
例 : 7 ⇒ [00][7] 15 ⇒ [0][1][5]

■ 操作用バーコードの作成方法

独自の操作用バーコードを作成することができます。
コードを組み合わせることにより、1 回の読み取りで操作
させることが可能です。
操作コードをバーコードで作成して、印刷して使用します。
操作コード一覧

^FF	印刷開始
^TS	テンプレート選択
^CF01	オートカットあり
^CF00	オートカットなし
^CH1	ハーフカットあり
^CH0	ハーフカットなし
^CP1	つなげて印刷あり
^CP0	つなげて印刷なし
^MP1	ミラー印刷あり
^MP0	ミラー印刷なし
^CN	印刷枚数指定
^NN	ナンバリング印刷
^ID	テンプレートデータ初期化
[HT]	デリミタ (区切り記号)

例 : テンプレート番号 1 1 番を印刷するバーコード
^TS011^FF